

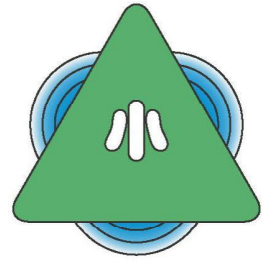
# 鳥海の子

HP  
用  
コ  
ード



～明るく・かしこく・たくましく～

令和8年度 学校報 No.12 文責 校長 吉田 哲哉  
コミュニティ・スクールだより  
由利本荘市立鳥海小学校 令和8年6月24日



## 「クマの被害防止の対応について」という講話を拝聴しました

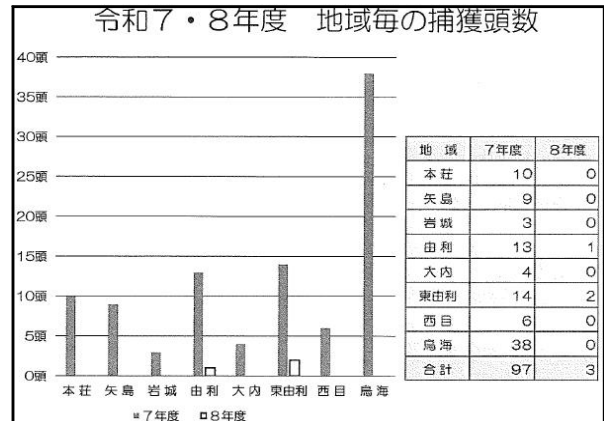
先日、由利本荘市校長会で、由利本荘市産業振興部農山漁村振興課にお勤めの\*\*さんが、クマ被害に遭わないための対応策を教えてくださいました。その一部をご紹介します。皆さん、くれぐれも気を付けていきましょう。学校でも継続指導をしていきます。

なお、由利本荘市の「消防・防災メール」に登録するとクマの目撃情報等も確認することができるのですが、まだ6,000人ほどしか登録していないという状況のようです。市のホームページに案内が載っており登録できますので、ぜひ確認してみてください。

## 令和7年度：鳥海地区が捕獲頭数ダントツでした・・・油断は禁物です

### ★クマの生態を知っておくこと

- ・人間と同じく夜は寝て、日中活動する。人目を避けるために「朝6時前後」と「夕方6時前後」に最も活発に行動する。
- ・クマは消化が悪いため、食べた物がそのまま糞として出ることが多く、食べた物とほぼ同じ色をしている。全く臭くない。
- ・クマの指は、前足も後ろ足も5本（計20本）ある。イヌ、ネコ、キツネなどは前足5本、後ろ足4本（計18本）。タヌキもクマと同じ5本ずつあるが、足跡は爪痕も含めて4本に見えることが多い。したがって、足跡や爪痕が大きく、しっかり5本に見える場合はクマの足跡・爪痕である。
- ・夏場は食べ物が少なくなるため、畑や食べ物がある場所を見つけてしまうと、学習して通うようになる。ゴミも放置しておかないようにする。



【農山漁村振興課が管理するデータより】

### ★クマによる人身事故を防ぐために

- ・学習能力が高いため、怖いことや痛いことをされないと分かれば、人を気にせず無視して活動を続ける。
- ・人身事故の発生パターンは大きく3つ。中でも、発生の9割近くが「防衛目的の攻撃」。「防衛目的の攻撃」・・・自分の身や子を守るために攻撃する。つまり、クマも人間も互いに気付かずバッタリ遭遇した場合は、クマ自身が安全に逃げられると判断できるまで攻撃を続けるため、鈴などの音で絶えず存在を知らせることが大事。

「偶発的な衝突」・・・クマ自身は何らかの理由でパニックになってしまい、動いている人間に向かってきてしまうため、対策は難しいが連続して起こる可能性は極めて低い。

「積極的な攻撃」・・・人間が持っている食べ物を奪うために、人間を食べ物と認識して攻撃する。連続して事故が起こる可能性が高いため、そうした個体がいる場所は入山禁止・立入禁止にしている。

- ・クマが人間を避けてくれるように音を出して存在をアピールする。ただし、風の強い日、雨の日、沢沿いなどでは音が聞こえにくいため、十分に注意しなければならない。
- ・万が一遭遇した場合は、**建物や車内に逃げ込むか、クマとの間に遮蔽物を挟む**ようにする（住宅地であれば電柱、塀、自動販売機等）。
- ・**走って逃げることは絶対にNG**（走って逃げるものを追いかける習性があるため）。
- ・クマの動きを見ながら、**ゆっくり後ずさりしてクマとの距離をとる**しかない。
- ・攻撃を受けそうになったら**「防御姿勢」をとる**。クマは、**顔や頭部を襲う習性**がある。**クマは左利きが多く**、体の右側にケガを負うケースが多い。クマスプレーを慌てずに使用（予め使用方法を確認して常備）する。

## 「そば畑」～種を植える準備をしてくださいました



18日（木）に真坂\*\*さん、柴田\*\*さん、小松\*\*さんの3名が、そば畑及び排水溝、建物周辺に除草剤を散布してくださいました。そして、週末には佐藤\*\*さんがトラクターで耕起作業を行ってくださいました（写真）。2回の作業で、とてもきれいに仕上げてくださいました。子どもたちの学習のために着々と準備してくださいさり本当にありがとうございます。7月15日（水）の種まきを、心を入れて行いたいと思います。

## 本日「結団式」を行いました。いよいよ明日から修学旅行！

小学校生活最大の楽しみに位置付け、最高の思い出と振り返ることの多い修学旅行。いよいよ明日から始まります。事故や怪我、体調不良等がなければ大成功。でも、18人の日頃からの仲間意識を見てみると、それ以上の成果が期待でき、一生の宝物になること間違いなしと思っています。

本日6校時に行った結団式の様子から、しっかりとときまりを守り、安全に楽しくありったけの思い出をみんなで作ってくださることを確信しました。

